

# 青高トリビア!!

## 並々ならぬ思い

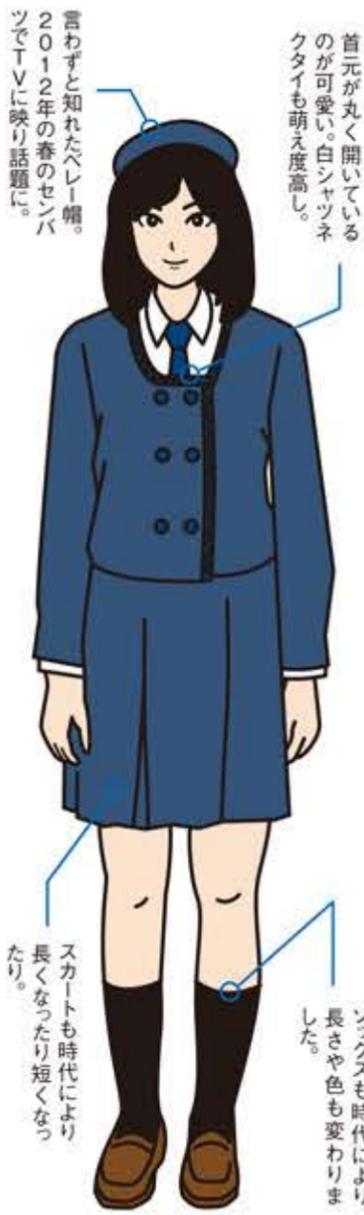
### ベレー帽に マッチした制服を

#### 制服



「ベレー帽といえば青高」と言われるほど、女子の制服は県内でも個性的で、根強い人気を誇った。製作者に出した「制服はベレー帽にマッチし、セーラー服でない」という条件からも、当時の学校関係者の並々ならぬ思いが伝わる。野球部が甲子園に出場した際も、ベレー帽の高校生はアルプススタンドで注目を集めた。1964年の開学当初から半世紀以上、愛され続けた制服も珍しいのでは。

男子の制服はオーソドックスな学生服。それでも90年代に夏服のスポンを変更する際、生徒から猛烈な反対が起きるなど、それなりに愛着は持たれていたようだ。



言わずと知れたベレー帽。2012年の春のセンバツでTVに映り話題に。

### 校訓は語呂合わせで決まった?



青高といえば自由な校風、そしてカワイイ制服、温泉プールと自慢できることが沢山ある。しかし、その起源やエピソードって意外と知らない人が多いのではないだろうか。いくつか紹介しよう。

#### シンプルに 青山らしさを

「明るく強く心温かく」の校訓は全国から集めた校訓も参考に、当時の校長が語感の良さなどを「つぶやきながら」決めたとされる。当初は新しい時代に生きる女性への思いが込められていたが、共学後も色あせることなく、青山らしさを端的に表現してきた。

### 2種類の校章



↑開学当初は幾何学模様のような旗だった



↑閉校まで使われた馴染みあるマーク

## 女子校から共学へ

### 「a」は何処へ？

開学当初から使われていたのは「青山(aoyama)」の「a」を三つ合わせたもの。各学年の団結をイメージした。共学直後の1978年度から閉校までは、ペン先(真理探究)をアレンジしたものが使われるようになった。



#### 温泉プールの最初の利用者は…

### こっそり一人初泳ぎ

1972年2月に完成した温泉プール付き体育館。温泉掘削の費用はPTAが出した。完成式典では、実業団の女子水泳チームが泳ぎ初めをしたが、その数週間前に県教委の担当者がかっそり一人で初泳ぎを楽しんだという。もともと、まだ温泉が入っておらず、かなり寒かったとか。